

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2013 年 3 月号 (第59号)

発行責任者 薄井 文子



雛飾り(山口民俗資料館) 加曾利厚雄氏提供

ところざわ倶楽部 3月公開講演会

新進気鋭の女性研究者がやさしく解説する
今注目の先端技術！「i P S細胞とは」(演題)

講師

独立行政法人 理化学研究所 (横浜研究所)
オミックス基盤研究領域
LSA 要素技術開発グループ 研究員
理学博士 長谷川 由紀氏

日時 平成25年 3月26日 (火)

13:30 ~15:30

(13:00 受付開始)

場所 新所沢公民館ホール

(新所沢駅より徒歩7分)

主催 ところざわ倶楽部

(所沢市民大学修了者の会)

[問い合わせ先] 志村 2923-9055

薄井 2945-2660

池田 2940-0711



長谷川由紀氏 略歴

2000年 米国カリフォルニア州立大学
ハイワード校卒業

2006年 横浜市立大学総合理科学研究科
生体超分子システム科学専攻
博士課程修了。理学博士
理化学研究所ゲノム科学総合
研究グループ研究員。

2008年 4月より現職。

多数の皆さんの
ご来場をお待ちしています！

(詳しくは折込のチラシを御覧ください。)

《 理事会からのお知らせ 》

市民大学との連携強化を**1 生涯学習推進センターの則武所長との面談**

1 月 22 日、会長以下理事 8 名で生涯学習センターを訪問し、則武所長と懇談して来ました。

以下は、その概要です。

(1) 市民大学について**① 市民大学修了者の**

「学びの継続」や「仲間づくり」、「生き甲斐」など、ところざわ倶楽部の存在意義をセンター側もよく理解している。

② 高齢者大学修了後市民大学を受講する者が多いが、この流れを逆転する必要があるのではないかと。募集時期、開講時期等、高齢者大学との関連で再検討する必要があるとの認識を共有。

③ 若い人も受講できるよう、授業・活動日を土曜日又は日曜日に設定できないか倶楽部側が提案。

④ 市財政の制約から市民大学が事業仕分けの対象ともなりかねないので、その存在意義が市民に見える形にする必要があるとの説明があり、カリキ



ュラムを検討するにあたって企画委員との意思疎通が必要と感じた。

(2) ところざわ倶楽部と生涯学習推進センターとの事業共催について

- ・ 予算処置が必要な事業については、年度予算編成に間に合う日程（前年の概算要求時頃）で調整する必要がある。現在そのような予算は計上されていない。
- ・ 具体的な事業提案は、6～3 ヶ月前までに行う必要がある。

2 市民大学企画委員との交流

生涯学習の継続性という観点から、市民大学とところざわ倶楽部が緊密に連携する必要があるのではないかと。問題意識のもと、3 月 11 日午後、当理事会と 20 期企画委員三役及び「市民大学通信」編集委員との意見交換会を開催する予定です。なお、今後は、21 期企画委員も含めて市民大学との意思疎通を図っていく必要があるのではないかと感じています。

(文責 高橋)

平成 25 年 2 月理事会報告**総務部**

2 月理事会は 12 日(火)に開催されました。

1 会長事案

(1) 1 月 22 日、生涯学習センター則武所長と倶楽部役員と懇談。結果報告。

(2) 3 月 11 日、市民大学 20 期企画委員と意見交換会を開催予定。

(3) サークル訪問の実績と感想報告。

2 月は会長訪問予定なし。

2 総務部事案

(1) 会員動向報告（会費納入者：19 期 23 名、18 期までの会員 223 名、合計 246 名）

未納者は 9 名（うち、サークル所属なし 3 名）広場郵送希望者は 65 名

(2) サークル名簿 2 月末までに提出依頼

3 月に運営費補助支払い予定。

(3) 会長、副会長と指名するメンバーで毎月第 4 月曜日「役員理事会」を定例的に開催する。

3 事業部事案

(1) 1 月講演会参加者 143 名、好評を博す。しかし、会員の参加が少ない。より積極的な参加要請が必要。運営については資料の事前準備不足、受付での混乱が見られた。

(2) 3 月行事 2 月 20 日ごろまでにチラシ作製、配布。次回理事会で役割分担を決定。

(3) 5 月 31 日に文化祭を予定。実行委員を組織。具体案を検討する。演芸以外に作品展示も検討。文化祭の在り方、意義につて議論。今回の議論を総括してあり方を再検討する。

4 広報部事案

(1) 「広場」2 月号内容、説明、配布

(2) 「広場」3 月号企画説明。5 月文化祭の記事、具体化しておらず記事は不可能の意見あり。広報部で再検討。

(3) 広場の配信を「ホームページ」の閲覧により、メール配信を中止することにつき、ホームページを閲覧している人がどの程度いるのか調査する必要があるのではとの意見あり、さらに検討を続ける。

支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動

サークル活動レポート

《歴史散策クラブ》

下町に江戸の名残りを訪ねて

岩崎昭治

2月16日（土）晴れ 朝気温3度 日中気温7度
前日は1日中小雨でしたが、天気予報どおり当日は晴天。しかし、北風が吹き寒い1日でした。
9時30分所沢駅集合、15名参加。徒歩約9km
散策コース
水天宮～隅田川大橋～芭蕉庵史跡展望庭園～芭蕉記念館～昼食（深川めし）～清澄庭園～法乗院閻魔堂～深川不動尊～富岡八幡宮

水天宮

半蔵門線水天宮前駅で下車して徒歩約1分で着く。江戸時代三田にあった久留米藩の江戸屋敷に祀られていた久留米水天宮が、明治5年に移転。安産祈願の参拝者が多く、腹帯も販売している。

隅田川大橋

隅田川に架かる橋18本のうちのひとつで1979年竣工。散策当日の隅田川は強い北風で白い波頭がたっていたが、その先に美しい東京スカイツリーの姿を見ることができた。



芭蕉庵史跡展望庭園、芭蕉記念館

松尾芭蕉が門人杉山杉風の別邸泊船堂に1680年37歳のころから住む。門人の李下が一株の芭蕉を庭に植えたのを機に芭蕉庵と称し、そこから、それまでの号「桃青」を改め、自らも「芭蕉」を号とするようになったといわれている。記念館には芭蕉自筆の句や短冊などが展示されている。



老舗の「みやこ」深川めし

池波正太郎さんの小説「鬼平犯科帳」にも書かれている名物の深川めしがワッパに盛られて膳にならび、皆で江戸前漁師めしの味を存分に楽しんだ。

清澄庭園

「元禄の頃は紀伊国屋文左衛門の別邸（回遊式庭園）」、明治11年（1878）三菱の岩崎弥太郎が別邸として造園したが1924年震災後東京市に寄付された。弥太郎はここに社員を招き研修や福利厚生に役立てたといわれている。

法乗院閻魔堂

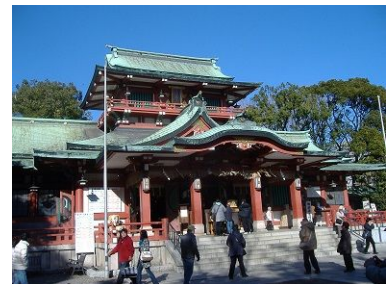
このお堂は、江戸時代から「深川の閻魔さん」として親しまれてきた。悩みごとや願いごと毎に賽銭受けを設け、賽銭をいれると閻魔さんのお告げが聞ける仕掛けになっている。地獄の沙汰もカネ次第？

深川不動尊

成田山新勝寺の東京別院であり、元禄16年（1703）の出張開帳が始まりといわれている。境内には出世稲荷や深川龍神が祀られている。門前には仲見世通りが残っている。門前仲町の由来はお不動様かもしれない。

富岡八幡宮

深川発展の中心地、江戸勧進相撲の発祥地で1627年創建。1684年から勧進相撲を興行し参詣人を集めた。1833年まで150年間つづき、その後は両国回向院に引き継がれた。境内には深川力石の碑と力石、横綱力士の碑、大関力士の碑がある。また、日本最古の鉄橋の八幡橋（国指定重要文化財）が残されていた。



深川はゼロメートル地帯。大橋を下りて隅田川のテラスを暫く散策したがそのことがよく分かった。

川上には清洲橋、川下には永代橋、その先をみると築堤が無ければいまでも街に溢れ出そうな川面の高さと水量が見えた。そして、隅田川も小名木川も江戸文化を育んできたことを実感。今回はこの江戸下町を身近に訪ね、楽しい1日を過ごすことができた。

特別会員リレー寄稿 第9回

「八重の桜」と私

明治大学名誉教授
渡辺 隆喜

はじめに

今から 30 年前のことです。私は勤務先から一年間の休暇をもらい、海外研究に出かけました。この時の研究課題のひとつは、幕末維新期の海外留学生の足跡をたどり、彼らの日本の近代化に果たした役割を探ることでした。この課題は期せずして、今年の NHK ドラマ「八重の桜」とかわりますので、その関連を紹介してみましょう。

主人公の八重は、会津藩の砲術師範の山本家に生まれ、女性ながら小銃をあやつり、戊辰戦争では白虎隊を指導し、敗北後は兄寛馬が開いた京都の洋学校を手伝い、明治 8 年アメリカ帰りの新島譲と結婚、同志社大学の基礎作りをする人物です。女性から見た明治維新、つまり「女性と変革」を最大のテーマとする近代国家成立史のドラマ化です。

戊辰戦争敗北と日本最初の移民

私が海外研究で最初に訪れたのは、サンフランシスコでした。この街は日本からの渡米の玄関口で、当時の留学生の足跡（たとえば所沢地域では粕谷義三）や咸臨丸の水夫の墓、高橋是清の奴隷生活の跡などがあります。また、近くのサンタ・ローザには薩摩藩留學生長沢鼎の生活の場も残っています。東北のサクラメントの山の上、シェラネバダ山脈にはエルドラド（黄金郷）郡があり、この地に明治 2 年に白虎隊関係者が移民したワカマツ・コロニーが残っていることは意外に知られていません。武器商人のヘンリー・スネル（ドイツ人、日本名平松武兵衛）が、戊辰戦争当時、会津藩の侍大将となって砲術隊を指導し、敗北後その関係者を引率してエルドラドに移民するのです。



「おけい」さんの墓
（蕨市議員 撮影）

彼の子供は日本人「おけい」に預けていましたが、不毛の地のために離散した移民の中で、若くして亡くなった「おけい」さんの墓が今も現地にあります。エルドラドと姉妹都市の関係にある蕨市でも、この歴史を知る人は少ないようです。

八重の夫新島譲の米国留学

私が次に訪れたのはボストンでした。ハーバード大



フィリップス・アカデミー（筆者撮影）

や、アンドーバーの新島譲の出身高校フィリップス・アカデミー及びアモースト大学を訪れました。

新島は安中藩士で蘭学を学びました。箱館でロシア正教会の聖ニコライ（駿河台聖堂創建者）に日本語を教えた縁で、彼に相談してアメリカに密航します。アモースト大学 4 年の時、クラーク先生と出会いますが、クラークは翌年日本に渡り、札幌農学校の教師となって内村鑑三、新渡戸稲造を教えています。内村はその関係でアモースト大学に留学しました。なお、ちょうど私がハーバード大学にいた時、内村鑑三研究会が開かれていました。新島は宣教師として明治 7 年に帰国。翌年山本八重と結婚して、同志社大学の基礎を築きます。八重は「ならぬことはならぬ」と教えられた少女時代から、キリスト教に改宗しますが、どのような精神的変化があったか興味深いものがあります。

大山巖の妻山川咲子の場合

同じことは、会津藩家老の娘山川咲子（捨松）にも言えます。戊辰戦争当時 9 歳で弾丸作りを手伝っていた彼女は、戦後青森の斗南に、長兄山川浩（斗南藩大参事）、次兄健次郎（のち東大総長）らと移住、選ばれて明治 4 年に岩倉使節団とともにアメリカに留学します。この時捨松は 12 歳でした。明治 15 年帰国。結婚した相手は鶴ヶ城攻撃の薩摩藩隊長大山弥助（巖、参議、陸軍卿）でした。彼女も変革期の女性として「女たちの明治維新」を体現する象徴的人物でした。

山本家の家業砲術指南は、カノン砲、ゲベール銃、スペンサー銃を使用するため、早くから西欧知識を必要としました。この洋学に裏づけられた軍事知識は、近代創出の武器になりましたが、西欧近代の基礎たるキリスト教に知識が深化する過程は、日本人論としても興味深いものがあります。

NHK 大河ドラマが単なる女性の銃使いとして描くのではなく、周辺に目配りしつつ、歴史的総合的に近代史として描いてもらいたいと思っています。

サークル活動レポート

《 野老澤の歴史をたのしむ会 》

内と外を取り混ぜた活動を！

戸田チイ子

「野老澤の歴史をたのしむ会」は16期の「所沢市史」グループが2年次終了と同時に立ち上げたサークルで、今年で4年目を迎えています。

今年は1月に「地域の自然を考える会」と一緒に福祉バスで七福神めぐりを行いました。2月には7日に「所沢飛行場100年の歴史」について皆で学習した後、航空発祥記念館で「ゼロ戦」を見学し、映像鑑賞も行いました（詳細はホームページに掲載）。



ゼロ戦の展示：航空発祥記念館

21日には地産地消の「里芋だんご」を作り、美味しく賞味しました。

歴史を「内」で学び「外」で確認

今年は「内」と「外」を取り混ぜた活動を行っていきたくと考えています。

先ず所沢の近現代をテーマにして、3月に「高橋玄洋先生を囲む座談会」、8月と12月に「渡辺隆喜先生を囲む座談会」を計画しています。

昨年に引き続き今年も実施する予定の活動の一つに、「武蔵野三十三観音巡り」があります。これは練馬高野台駅近くの「長命寺」から始まって、今年は最後に吾野の「竹寺」をお参りして結願となる予定です。二つ目は鎌倉街道を歩くことで、昨年の2回に引き続き今年も2回を計画しています。今年度は武蔵高萩駅より嵐山の菅生館まで歩く予定にしています。三つ目は軽便鉄道の跡をたずねることです。「軽便鉄道」は村山・山口貯水池建設工事に伴って出来たもので、「こんなところに鉄道があったの?」「野山北公園自転車道のトンネ

ルの意味がわかった！」などの反響もあるそうです。

1回目は西武球場駅から歩いて豊鹿島神社、八坂神社等巡りながら、赤坂・御岳・赤堀・横田トンネルを通過して武蔵村山民俗資料館を見学し、玉湖神社、金乗院等を経て西武球場駅に戻りました。今年は11月に残りの部分を歩くことを計画しています。

新しい企画「富士塚巡り」

新しい企画としては「富士塚巡り」があります。一回目は富士山の山開きに合わせて7月1日（月）に計画しています。江戸時代に浅間信仰の信者が富士講社を作り江戸庶民の間に富士山信仰が爆発的に広がり江戸八百八講と言われるほど増えたそうですが実際には旅などが困難な人が多く身近な場所に模倣富士山を築造して誰でも富士参拝が出来るように築いたのが富士塚でした。所沢だけでも8箇所、埼玉県全域では500件余りがあるようです。まずは所沢市内、そして次は所沢周辺へと周って行きたいと考えています。

また、北野天神の歴史や文化財を研究、所沢元町にある法華寺の「ほうろく灸」の体験、山口民俗資料館で今は幻となった「所沢飛白」についての学習も予定されています。



山口観音：

サークル活動は毎月第1・第3木曜日を中心に行っています。参加は基本的に自由です。

興味のある方は是非参加してみてください。きっと楽しく過ごせると思います。



1周年を迎えた 「ところざわ倶楽部ホームページ」 リニューアル・オープンから



広報部

アクセス数 2 万 4000 を突破

3 月 1 日現在のアクセス数は、なんと 2 万 4210 を数えました。この数は月平均約 2,000 を越えます。多くは会員によるアクセスと思われますが、会員以外のアクセスもあり、市内のメディア会社や環境問題に関心を持つ団体などからの問い合わせもありました。

本紙の奇数ページの欄外に記載されている URL をお使いになるか、又は検索窓に「ところざわ倶楽部」と入力して一度検索してみてください。

毎週月曜日に更新

デスクトップにショートカットのアイコンを置くか、お気に入り追加しておけば簡単にアクセスできます。

メールを見るついでにアクセスしてください。

活発なサークル活動を記録・紹介

各サークルの活動状況の速報をホームページでお知らせしています。トップページの、サークル紹介の窓をクリックしていただき、それぞれのホームページを是非覗いてみてください。皆さんのイキイキした活動状況が報告されています。また、お知らせ欄では活動予定も随時掲載しています。

もし、気に入った活動があれば、直接当該サークル

にコンタクトし、参加されてはいかがでしょうか。皆さんの活動範囲が一層広がることでしょう。

投稿欄は情報の宝庫

この 1 年間に投稿されたエッセイ数は約 110 本、写真投稿は約 90 回ありました。この投稿欄は情報の宝庫です。所沢の今とむかし、何気なく見逃していた所沢の一面を活写した写真、登山や外国旅行記などを皆さんに紹介しています。ここを覗くだけでも価値があると言えます。

過去に遡って読める「広場」

本紙「広場」のバックナンバーもホームページで読むことができます。メール配信された「広場」は削除してしまっても、自分の寄稿した記事や再確認したい倶楽部情報などホームページの広場をご活用ください。

ホームページの役割

ところざわ倶楽部のホームページは、所属サークルそして会員相互の絆を深める情報交換の広場です。したがって、皆様が有効に活用してこそホームページの存在価値があります。

皆様の活発なアクセスと積極的な投稿を期待しております。

放射線についての出前講座を開催

1 月 30 日に中央公民館で行われた、放射線に関する講演会のシリーズとして、所沢市の環境対策課に依頼し、出前講座を計画しました。

《 テーマ 》 「所沢市の放射線関係測定・検査状況について」

講 師 : 所沢市環境対策課課員
開催日時 : 4 月 16 日(火) 15 時～(1 時間の予定)
開催場所 : 新所沢東公民館
主 催 : サークル「地球環境に学ぶ」



出席される方は準備都合上、下記のいずれかにご一報下さい。

・塚本 2942-3117 ・中島 2928-1161 ・長岡 2925-6775

※1 月 30 日の講演会では質疑応答が活発に行われる等盛況でした。

この質疑応答の概要をところざわ倶楽部・地球環境に学ぶのホームページに載せましたのでご覧になって下さい。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

	葵の会（池田新八郎 2940-0711） 3月14日（木）13：30～16：00 中央公民館 7 号室 古典講座「古事記」第 2 回 講師：小川達雄先生 テーマ：「天の岩屋」天照大神の石屋隠れの段 4月11日（木）第 3 回「八俣の大蛇」（時間・場所同上）
アジア研究会（小椋雄二 2921-7739） 3月18日（月）3月定例会 中央公民館 8、9 学習室 13：30～16：30 ビデオ鑑賞 & 講演（タイ旅行報告） ① 発展するタイと ASEAN ② 中国の戦略の誤算 パナナとレアアース 日本の対応	楽悠クラブ（甲田和巳 事前連絡は不要） 3月12日（火）歌劇「古事記」 4月9日（火）歌劇「後宮からの誘拐」 いずれも、（時）13：30～（場）中央公民館 #8・9 3月31日（日）オーケストラの日コンサート鑑賞（場）五反田
公園を楽しむ会（渡部正俊 2921-3014） 3月28日（木）：柳瀬川沿い散策 4月25日（木）：航空公園からカルチャーパークへ カルチャーパークにて BBQ を行います。	地域の自然（多胡國男 2993-6143） 3月23日（土）09：00～ 笹、常緑樹伐採・整理等 場所：さいたま緑の森博物館調査地 4月13日（土）09：00～ 定例会 常緑樹伐採等 場所：早大 B 地区調査地
地域の自然を考える会（前岳良子 2928-7334） 3月26日（火）トトロの森 12 号地管理作業 4月23日（火）トトロの森 12 号地管理作業 日付け未定 観桜懇親会（お花見）	地域の祭り研究会（影山洋 2921-8522） 3月11日 幹事会 3月22日行事の打ち合わせ 3月22日 八王子車人形見学会
地球環境に学ぶ（塚本二郎 2942-3117） 3月19日（火）15時～定例会 新所沢東公民館 市の放射線関係測定・検査状況についての出前講座打ち合わせ、各自勉強の発表他 4月16日（火）15時～定例会（前半 1 時間、出前講座予定）	所沢の自然と農業（清水仁一 2944-8835） 3月14日（木）定例会：新所沢公民館 13：00～ 3月24日（日）景観まちづくりシンポジウム 3月29日（金）扇山花見&ハイキング 4月11日（木）定例会：新所沢公民館 13：00～
野老澤の歴史を楽しむ会（戸田チイ子 2995-0133） 3月21日（木）高橋玄洋先生を囲む座談会 13時～15時 中央公民館 4月4日（木）武蔵野 33 観音巡り⑧ 飯能駅 9 時集合	ドラマティック・カンパニー（八木雅子 2995-0148） 3月9日&23日（土）10：00～正午 4月6日&20日（土）10：00～正午 『アントニーとクレオパトラ』を読み進めるとともに、実際に朗読を行います。会場：新所沢東公民館
懐かしの映画・鑑賞会（二上拓夫 080-1250-6151） 3月12日（火）10時～12時30分 西新井町公民館 ■「任侠 緋牡丹博徒」(69 年) 藤純子・高倉健 4月6日（火）10時～12時30分 西新井町公民館 ■「そよかぜ～リンゴの唄」(45 年) 並木路子・上原謙	傍聴席（高垣輝雄 2926-7164） 3月18日（月）定例会、14時～新所沢東公民館 会員よりレクチャー： ①市の 25 年度予算を市民目線で把握しましょう。 ②歳入・歳出（財政構造）の問題点。ほか
北欧の会（樋口俊夫 090-6483-7993） 3月23日（土）第38回例会 13時20分 テーマ「北欧と日本との福祉の違いについて」 場所 新所沢東公民館 4月 第 39 回例会 舞浜倶楽部訪問	民話の会（仲山富夫 090-3902-0283） 3月19日（火）11時～13時 新所沢東公民館 4月2日（火）民話由来地めぐり、花見会 5月28日（火）民話由来地めぐり *民話の由来地めぐりへご一緒しませんか。ご連絡下さい。大歓迎！
歴史散策クラブ（大河原功 2943-2004） 3月17日（日）車人形鑑賞・所沢駅 3 番線池袋行最後部 11：20 3月28日（木）浅草寺大絵馬展、伝法院庭園拝観 所沢駅 2 階改札内（花屋付近）9：00 4月4日（木）皇居東御苑、千鳥が淵 詳細は別途周知	歴史を楽しむ野老会（居田治 2903-8400） 3月28日 明治大学博物館見学、御茶ノ水界隈散策 4月19日 所沢を歩く(1)西所沢～普門院、瑞岩寺等 5月24日 所沢を歩く(2)小手指周辺の石橋供養塔 6月 休み 7月5日 検討中

【私の健康法】

《公園を楽しむ会》 新井光子

腹八分目と毎日 30 分歩くこと、それが私の健康法です。でも、あまり続きません。

また、何にでも興味をもつこと。これもすごく大事です。私は好奇心のかたまりです。

いまピアノを習っています。しばらく使わなかったので処分しようと思いましたが、昔を思い出してまた習ってみることにしました。でも気が多くて、近頃はピアノではなくて、三味線にすれば良かったかな、と思っています。

興味のあることはやってみよう！してみよう！先が見えているんだから・・・

なんの参考にもならなくてスイマセン！



編集後記

◆3月3日は桃の節句でした。表紙の写真には残念ながら写っていませんが、ひな壇の飾りの一つとして菱餅があります。この菱餅の3色の由来について紹介したいと思います。

◆一段目の桃色は、桃の花をあらわしており、邪気を払うことを意味し、二段目の白は雪。これは浄化純白を意味しています。そして三段目の緑は草の色（ヨモギ）。草花の芽が雪の下で春を待つ強さとヨモギにある厄除けの意味を合わせて、大病することなく育つようにとの願いが込められており、自然の移ろいに敏感な日本人の細やかな感情が、文化となって表現されています。



あの人の彼の人のこと初昔
雪代の渦巻き流る千曲川
蘆荻(わらぶ)を目深に冠り寒牡丹
被せ蘆をはみ出す一花寒牡丹
一葉の息つかひする冬の井戸
お地藏さん帽子襟巻き顔隠れ
雪しろやオーケストラの始まりぬ
大漁節流るる港雪濁り
紙と木と土雛つどふ飾り棚
雪掻きの音に急かさる目覚めかな

鈴木 征子
小林 典子
佐藤 英子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高光 泉
利根川 啓一
中嶋 弘子
中村 直子

一尋ひとひらの雪の深さと便り来し
耳病みて春の佳きこと半ば聞く
笹鳴きや歩巾緩めし女坂
昨年今年(ぞとこ)いつもの席母がいて
降る雪や海鵜潜(うみう)ける隅田川
雪代の音に裏戸のきしみけり
雪解けの音ペランダにあふれけり
常盤木の枝撓ませて春の雪
雪代や釣師は魚影見逃さず
雪吊りの縄びんとして老いの松

橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
岡本詔一郎
粕谷 昇
河瀬 俊彦
小林 貞夫



むさし野俳句会(二十五年二月) 作品抄



そして、長く厳しい冬を乗り越え、春がすぐそこまで来ている待ち遠しさが、菱餅の3色から感じとれます。

◆春になり思い出すのは子供のころ遊んだ鞠つきです。暖かい春の陽ざしを浴びながら夢中で鞠つきをしたものでした。 ♪あんたがたどこさ～♪

「霞立つ ながき春日に 子供らと

手鞠つきつつ この日暮らしつ 良寛」

◆2月から、新コーナー「私の健康法」の連載が始まりました。すでに数人の方より原稿をいただいています。それぞれの文章には、良寛様の歌のように人生の重みを感じられ、味のある内容になっています。どうぞご期待下さい。原稿を依頼するにあたり、快く引き受けてくださった皆様に、この場を借りて厚く感謝申し上げます。
後藤律子 記